

小P連からの活動報告



10月27日(木)、市長教育長懇談会が行われました。

『現代の防犯対策を考える』をテーマに、各校や家庭で現在行っている対策や意見・要望を共有し、多摩市の防犯対策に関する話を直接伺いました。

下校時の見守りが薄くなることや、通学路の道の安全面（レンガめくれ・アスファルトの穴・街路樹や緑による死角や暗さ等）、防犯カメラ増設の要望が主に共通の意見としてあがっていました。また、家庭でできる性教育については、なかなかきっかけがなく、話せていないという声も多く聞かれました。

残念ながら防犯カメラに関しては、予算等の関係で全ての箇所に設置することはなかなか難しいようですが、普段から地域の方と関わったり、お互いに顔の見える環境作りをしていくことが理想的とのことでした。また、道路の不具合に関しては、声をあげることが大事で、「通学路点検」などもあるので、学校等に共有してほしいとのことでした。不審者情報もそうですが、学校や教育委員会に共有することで情報を積み上げていき、地域や子供の安全へ繋がるそうです。性教育については、保健日よりでも啓発を図っているので、家庭での話題にしていいただきたいとのこと

小P連ってなあに？

小P連というのは、「多摩市立小学校 PTA 連絡協議会」の略称で、多摩市内の16の小学校のPTA代表で構成されています。年に3~4回全体会議が行われ、各小学校での取り組みやPTA活動を紹介したり、テーマに沿って意見や情報を交換したりしています。話合いのテーマは毎年変わりますが、今年度は「現代の防犯対策を考える」というテーマで、現在心配に思っていることについて述べたり、それぞれの学校や地域でどのように対応しているのかを発表したりしました。

小P連の推薦委員と会長などの役員校は輪番制で、2026年度まですでに決まっています。聖ヶ丘小は、2021・2022年度は青少年健全育成委員会、来年の2023年度には会計校の担当になる予定です。

小P連の全体会では、小さなお子さんを連れて参加される方もいて、和やかに、時に白熱した話合いが行われます。他校の様子や、PTAの取り組みを知ることができるいい機会となっています。